

救急・集中治療科

メッセージ

鹿児島は、日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島をはじめとする特色のある島々など、多彩で豊かな自然環境に恵まれています。砂蒸し温泉をはじめ全国2位の温泉天国です。さらに豊かな食文化と美味しい食材（かごしま黒豚、鹿児島黒牛、黒さつま鶏をはじめ、焼酎、さつまあげ、キビナゴの刺身など）に恵まれています。このような魅力ある鹿児島の地で、わくわくするような後期研修を体験してみませんか。

後期研修の目的は、(1)地域医療現場の第一線で活躍できる医師の育成、(2)各専門科に進む前に最低限学ぶべき総合診療・救急・集中治療・感染症の習得です。そのため、救急（一次・二次・三次）・集中治療（一般・小児集中治療）・感染症研修・心エコー研修・地域離島医療研修などを組み合わせた4年間の研修であり、最初の3年間（後期研修プログラム）で救急専門医を取得し、その後の1年で集中治療専門医・感染症専門医の取得を目指します。我々は、地域医療現場の第一線で自信を持って活躍できる医師を育成するための知識と経験を「オール鹿児島」で提供します。

期間：4年間

ただし他院で総合診療・救急・集中治療またはそれと同等の後期研修をしたものは、その研修年限分を考慮した中途編入も考慮します。

研修目標

- 診断学・症候学・重症患者管理について指導できるレベルになる
- 救急患者の初期対応に関して指導できるレベルになる
- 感染症の予防法・抗菌薬の使用法などに関して指導できるレベルになる
- 心エコーによる心機能評価に関して迅速かつ正確にできるレベルになる。
- 3年間で救急専門医を取得する
(専門医取得1年後に、集中治療専門医、感染症専門医を取得する)
- 初期～後期研修医の教育の中核になれる能力を身につける
- 基礎・臨床研究の手法を身につけ、「ロジカルなものの考え方」を学ぶ
- 国内外の学会発表、筆頭論文を作成する

* 研究と学位取得も可能です（オプションとして2年目以降）

研修中に「なぜ?」、「もっと知りたい」、「未知のものを解明したい」と希望する方には、指導医が研究の計画立案からデータ収集・実験方法までを丁寧に指導いたします。「ロジカルなものの考え方」を学ぶためにも、研修中に是非とも研究に触れてください。将来、必ず役に立ちます。

* スキューバダイビングのライセンス取得を目指す（オプションとして）

離島（奄美大島など）で研修しながら、ダイビングやサーフィン、ウインドサーフィンなどを十二分に楽しめます。その気になれば、スキューバダイビングのライセンスも取れます。あなたも南の楽園で、夢のような世界を経験できるはずです。



プログラムについて

4年間のうち、原則、大学病院（2年間）、市立病院（1年6ヶ月間）、県立大島病院（6ヶ月間）
（但し、希望があれば期間の変更は可能）

「オール鹿児島」

- ・鹿児島大学病院救命救急センター研修：2年間
- ・鹿児島市立病院救命救急センター研修：1年6ヶ月間
- ・鹿児島県立大島病院救命救急センター研修：（6ヶ月間、麻酔科研修も可）

研修内容の選択

各選択時期については研修医の都合で調整可能です。

後期研修コースの選択は自由です

（例1）：大学救急・ICU研修後に市立病院救命センターと県立大島救命センターで研修する

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			大学救急ICU研修		
2年目	市立病院救命センター			市立病院救命センター			市立病院救命センター			市立病院救命センター		
3年目	市立病院救命センター			市立病院救命センター			県立大島救命センター			県立大島救命センター		
4年目	大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			大学救急ICU研修		

（例2）：市立病院救命センターで2年間研修後に、大学救急・ICUと県立大島救命センターで研修する

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	市立病院救命センター			市立病院救命センター			市立病院救命センター			市立病院救命センター		
2年目	市立病院救命センター			市立病院救命センター			市立病院救命センター			市立病院救命センター		
3年目	大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			県立大島救命センター			県立大島救命センター		
4年目	大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			大学救急ICU研修			大学救急ICU研修		

* 上記以外の研修も準備しています（オプションとして）

- （1）大阪府三島救命救急センター研修
- （2）米盛病院外傷センター研修
- （3）外科研修など



プログラムについて

研修プログラム内容

■救急専門医を目指す（3年間）

(1) 後期研修期間中の3年間は後期研修プログラムに準じ、大学病院救命救急センター、市立病院救命救急センター、県立大島病院救命救急センターに専任として勤務し、救急・集中治療（小児集中治療、心エコー研修、感染症研修）、病院前診療（ドクターカー、ドクターヘリなど）、重度外傷や重症救急病態の初期診療と治療、地域・離島医療を学びます。

(2) BLS（一次救命処置）、ACLS・ICLS（二次救命処置）、JPTEC（外傷病院前救護）、JATEC（外傷初期診療）、DMAT（災害医療評価チーム）などの取得を進めます。

(3) 並行して、FCCS（Fundamental critical care support）コース、CVC（エコーガイド下中心静脈穿刺）セミナー、ICD（インфекションコントロールドクター）セミナーを受講し資格取得を目指します。

■集中治療専門医・感染症専門医を目指す（1年間）

- (1) 感染症に対する抗菌薬の選択、重症敗血症/敗血症性ショックに対する適切な対応ができる。
- (2) 重症患者の栄養管理が適切にできる。
- (3) 急性血液浄化療法（CHDF、PMX-DHP、PE、etc）の導入、管理ができる（小児も含む）。
- (4) 急性循環不全症例に対して、S-Gカテーテル挿入、フロートラック・プリセップなどの導入により、循環管理（肺血管外水分量など）の評価と治療方針の立案ができる。
- (5) 急性呼吸不全患者に対して、人工呼吸器を用いて適切な呼吸管理（NPPV、SIMV、PSV、APRV、HFOなど）ができる。
- (6) IABP（Intra-aortic balloon pumping）、PCPS（Percutaneous cardiopulmonary support）、ECMO（Extracorporeal membrane oxygenation）の導入と管理ができる。
- (7) 感染症専門医制度規則に基づいたカリキュラム研修を修了する
- (8) 集中治療専門医・感染症専門医を取得するためには、学会発表、筆頭論文が必要です。
- (9) オプションとして「研究と学位取得」があります。

大学病院救命救急センターは集中治療専門医研修施設であり、後期研修プログラムを終了した時点で、集中治療専門医研修施設での1年以上の勤務歴、12週間（3カ月）以上の専従歴を満たします。救急専門医取得後、集中治療専門医申請資格が得られることとなります。

集中治療専門医申請資格には、学会発表以外に筆頭論文が必要です。研究担当スタッフを中心に、論文作成には最大限のサポートを致します。

鹿児島大学病院救命救急センター

大学救急ICU研修（一般・小児集中治療、感染症研修、心エコー研修も含む）

- ・大動脈解離や劇症型心筋炎、劇症肝炎、重症急性膵炎などの三次救急の研修
- ・重症患者（各種ショック、急性呼吸・循環不全、重症敗血症、多臓器不全、周術期管理など）の病態評価と、集中治療の研修
- ・補助装置（急性血液浄化、IABP、PCPS、ECMO）の導入・管理
- ・初期研修医・後期研修医・指導医による屋根瓦式のチーム体制
- ・毎日カンファレンスで担当患者のプレゼンテーションと、指導医による毎日の教育・フィードバックと、各科専門医との密接な連携による併診体制
- ・感染症研修：感染症チーム（ICT）で4週間研修（希望があれば延長可）

検査部でグラム染色研修(1週間)、担当患者は自分でグラム染色

- ・心エコー研修：心エコー外来で3か月間研修（希望があれば延長可）
- ・救急・ICUに関する最新知識のレクチャー

*詳細は、HPにある“キャリアデザイン”も参照してください

プログラムについて

鹿児島市立病院救命救急センター

- ・救急指導医によるEBMに基づいた手厚い指導
- ・一次・二次・三次救急外来患者の診断・処置を学ぶ
- ・ドクターカーやドクターヘリに搭乗し、救急現場で適切な処置・対応を学ぶ

*詳細は、鹿児島市立病院救命救急センターHPを参照してください

鹿児島県立大島病院救命救急センター（わが国初の離島の救命救急センター）

- ・離島研修・地域医療に貢献できると同時に、多種多様な疾患を経験できる
- ・救急専門医の手厚い指導とフィードバックが得られる
- ・希望者は、麻酔研修を選択することもできる
- ・大学病院ICUと週一回テレビ回線で合同カンファレンスを行うなど、ネット環境によるコンサルタントシステムが充実している
- ・（オプションとして）ダイビングのライセンス取得を目指す

*詳細は、鹿児島県立大島病院救命救急センターHPを参照してください

地域・離島医療研修

地域・離島医療の現状とニーズを学び、幅広い視野と実践力を身に着ける為に、週1回は、地域（離島も含む）の病院へ出向し、地域医療研修を行う。

教育的カンファレンス・各種レクチャー

- ・毎朝カンファレンス
- ・毎週曜日毎に開催されるもの

垣花塾、感染症レクチャー、画像診断カンファレンス、多職種カンファレンス、県立大島救命センター合同カンファレンス

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学病院 救急・集中治療科

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話：099-275-5646

FAX：099-275-5654

E-mail: yasutomo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

